

スマートシティに関する対応状況

戦略的スマートシティ実装タイプの案件創出

○スマートシティ実装化支援事業の現行制度は地方自治体等の発案を起点として個別地域に即した多様なテーマに取り組める一方、デジタル社会の重要性が高まるなか、夏期における異常な気温への対応や自然災害への対処等、**国として集中的・戦略的にまちづくりにおけるデジタル変革に取り組む必要性が増大。**

○国として戦略的に取り組む3つの分野における情報提供依頼（RFI）を通じて、案件創出に取り組む。

1. 事業者RFIの提出依頼（11月）

- 事業者RFIの公表に向けた応募様式や募集テーマ資料を用意
- スマートシティ官民連携プラットフォームを通じて提出依頼**
- 並行して地方公共団体にも情報共有を実施し、当該テーマのサービス導入に興味がある団体を調査

2. 支援候補事業者の評価・ヒアリング（12月）

- 民間事業者からの情報提供をもとに、募集テーマと提案サービスの整合性をはじめ、先進性や実績、地域との連携状況を理解するため、マッチング可能性がある**複数の民間事業者とヒアリングを実施**

3. 自治体を交えたヒアリング（1月上旬～）

- 各事業者が接点を持っている自治体を交えてヒアリングを実施
- R7年度の事業化に向けた体制面や費用面について深掘り

4. 実装化支援事業の公募（2月中旬～）

- コミッティにおける意見を踏まえて、R7年度事業内容に関してアドバイスを実施**
- 実装化支援事業における公募・審査を経て採択を行う**

募集テーマ

1 防災リスク情報等を含めたまちづくり計画のデジタル化

- まちづくり計画等のデジタル化に向けて、デジタルツールを活用して可視化した都市の災害リスク等を、都市計画・立地適正化計画等に反映するための支援ツールを開発し、その手法を確立する



2 リアルタイムでの環境情報の提供等による回遊の高度化

- デジタル技術を活用し、住民・来街者の快適性の低下を防ぎつつ、地域経済の維持を考慮した回遊性向上策を確立する



3 安心・安全（地域における面的な見守りの実現）

- スマートメーター等のデジタルツールを活用した、地域における面的な見守りを実現する手法を確立し、安心・安全を提供する



戦略的スマートシティ実装タイプの案件創出（テーマ1）

災害リスク情報等を含めたまちづくり計画のデジタル化

災害リスク可視化等のまちづくり計画のデジタル化支援ツールの開発・活用による都市の防災力の向上を目指します。

目的

まちづくり計画等のデジタル化に向けて、デジタルツールを活用して可視化した都市の災害リスク等を、都市計画・立地適正化計画等に反映するための支援ツールを開発し、その手法を確立する

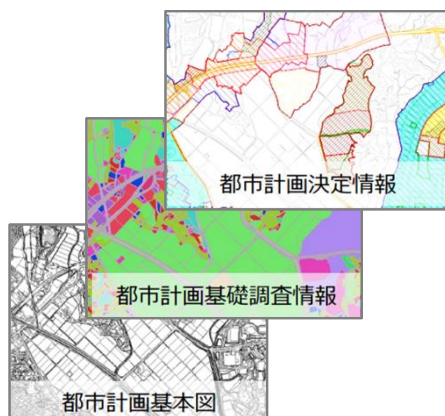
想定するサービスの範囲

- 災害種別ごとの災害リスクを可視化し、地域防災計画と都市計画等の一体化を支援する手法の開発
- まちづくり計画を作る際の人流データや、消費動向等のデータ利活用手法の開発

取組イメージ

既存の都市計画情報

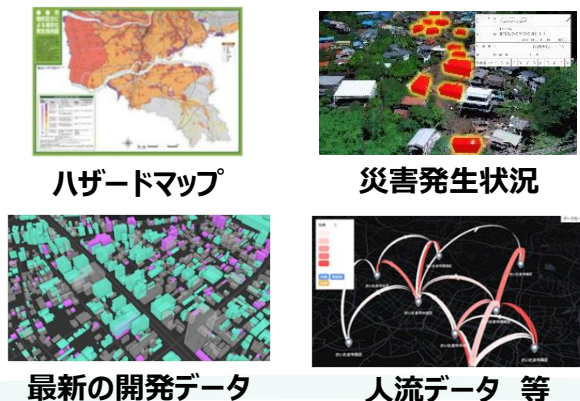
● 既存の都市計画情報



等

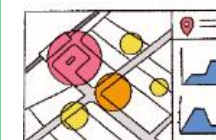
都市の中で取得したデータも追加しデジタルツール化

● 都市の中で取得した最新データを統合



まちづくり計画の高度化

● まちづくり計画の高度化

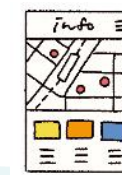


可視化ツールより課題が明らかにあったため、すぐに対策に取り組もう！

まちづくり実践者
(自治体職員等)



● まちづくりデータのオープンデータ化



市民もまちづくりデータを
確認できる！
(ビジネス等に活用できる)

市民 等

都市が取得した様々なデータを、都市計画情報と連携でき
まちづくり計画を効率化・高度化するデジタルツールの開発

リアルタイムでの環境情報の提供等による回遊の高度化（暑熱対策）

気温・日陰等の環境情報をリアルタイムに可視化し、クールスポットの提供等を実施することで、回遊性の向上を目指します。

目的

夏期の高温化や、猛暑期間の長期化が進行するなか、デジタル技術を活用し、住民・来街者の快適性の低下を防ぎつつ、地域経済の維持を考慮した回遊性向上策を確立する

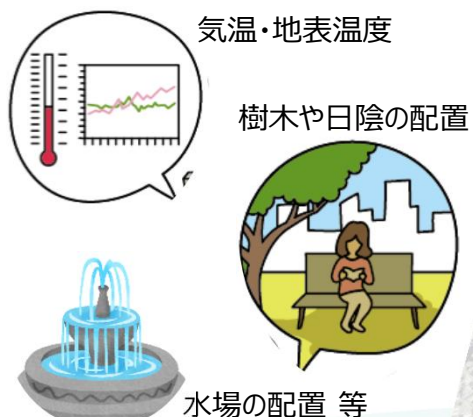
想定するサービスの範囲

- エリアの気温、地表温度、日陰情報等の情報をリアルタイムで取得し、可視化・発信する技術の開発
- 上記のリアルタイム情報と連動した、クールスポットを創出する技術の開発
- サービス提供による人流への影響を把握する仕組みの構築
- サービスの持続性を担保する仕組みの構築（エリア内の店舗・行政等にもメリットのあるサービス戦略）

取組イメージ

環境データの取得・表示

- センサー等によりリアルタイムで環境データを取得・表示



リアルタイムデータを踏まえた、多様な情報を発信



リアルタイムの環境データの取得から、ルート提案等により来街者の行動変容を促したり、現地の対策オペレーションを高度化する等、暑熱に対する総合的なソリューションの開発

戦略的スマートシティ実装タイプの案件創出（テーマ3）

地域における面的な見守りのデジタル化

デジタル技術を活用し、地域における面的な高齢者見守りの実現を目指します。

目的	スマートメーター等のデジタルツールを活用した、地域における面的な高齢者等の見守りを実現する手法を確立し、安心・安全を提供する
想定するサービスの範囲	- 世帯単位を対象とした見守りを地域に広げ、面的な見守りを実現する技術の開発 - 上記技術を活用して異常を検知した際に、地域組織等による迅速な対処を可能とする体制・システムの構築

取組イメージ



地域における高齢者等の面的な見守りを、データ取得から、可視化、関係各所での迅速な対処まで、総合的に対応するソリューションの開発

本日は議論いただきたいこと

本日も議論いただきたいこと②

■ RFIにおける事業化候補地域の選定について

事務局による評価について：

RFIおよび情報提供団体に向けたヒアリングを経て、情報提供団体の提案内容を評価しているが、評価内容が妥当か。

今後の事業化に向けた取組について：

事業化に向けて意欲的な自治体が限定されるなか、どのように巻き込んでいくことが望ましいか。

支援にあたっての留意点：

今後、事業者と自治体による事業構想・実装化支援事業への申請を支援していくが、事業化にあたり留意すべき点はないか。